

第 2 回	世界と日本の航空事情 ・航空業界の分析、日本および世界各地の現状と課題
第 3 回	航空産業の歴史 ・第 2 次世界大戦から現代までの流れ
第 4 回	航空産業の現状と課題 ・新型コロナウイルス以降の現状と社会課題への対応
第 5 回	空港運営 ・日本の空港の現状と課題 ・世界の空港との対比
第 6 回	FSC（フルサービスキャリア）のビジネスモデル ・ネットワーク戦略 ・アライアンス（航空連合）
第 7 回	LCC（ローコストキャリア）のビジネスモデル ・LCC の歴史と現状 ・FSC ビジネスモデルとの比較
第 8 回	マーケティング ・商品・サービス（差別化） ・マイレージ戦略などの特徴
第 9 回	安全とリスクマネジメント ・安全への取り組みと今後の課題
第 10 回	運航管理 ・運航管理者と運航乗務員
第 11 回	フロントラインの仕事：グランドスタッフ、客室乗務員、航空整備士 ・業務概要、訓練のあり方、キャリアパスについて
第 12 回	貨物事業 ・整備業務と委託化 ・貨物業務と物流について
第 13 回	サステナビリティと ESG 経営 ・SDGs 達成に向けた ESG 経営による取り組みについて
第 14 回	エアラインビジネスの今後 ・航空・非航空事業領域における取り組みについて
第 15 回	まとめ ・全体の振り返り
テキスト	グーグルクラスルームを使って教員作成の資料（パワーポイント）を提供する。
参考図書・ 教材／データ ベース・ 雑誌等の紹介	・エアライン・マネジメント - 戦略と実践 （株）日本航空株式会社著 インプレス ・エアラインビジネス入門 稲本恵子編著 晃洋書房 ・航空産業入門 （株）ANA 総合研究所著 東洋経済新報社
課題に対する フィード バックの方法	成績評価は、知識確認の小テスト 3 回 60%、授業後レポート 15 回 30%、グループワーク後の発表等授業への参画姿勢 10%とする。 ・小テストは、採点后、返却する。 ・授業後レポートは、次の授業内でフィードバックする。

学生へのメ
ッセージ・
コメント

航空会社勤務（客室乗務員・訓練教官・組織マネジメント）の経験を活かし、航空業界で働くやりがいや厳しさなど、実業務を交えて授業をおこないます。

COVID - 19 により大きな影響を受けた航空産業では、事業の回復を図るべく急激な変革が起きています。中でもテクノロジーの発達は、事業運営の中でも大きな変化となりました。しかし、テクノロジーの発達と共に更に重要視される「人と人」との関係構築の上で重要なコミュニケーション能力や高いホスピタリティマインドを持った人材は必要不可欠である事に変わりありません。「人」が重要であり、需要のある産業です。この授業を通し、学生の皆さんが高いホスピタリティマインドを発揮し選ばれる航空会社の仕組みやビジネスの内容を理解すると共に今後の可能性を広い視野で考え、航空産業に興味を持つきっかけとして欲しいと考えます。

